



# 寺ネット・サンガ通信 第19号

寺ネット・サンガ事務局 〒146-0082 東京都大田区池上 1-19-10 永寿院内  
Fax 03-3751-0533・メール info@teranetsamgha.com

## コロナ禍から見えてきたこと

寺ネット・サンガ代表 吉田尚英

コロナウイルス禍において、「いつまでこの状況が続くのか？」  
「日本経済はどうなるのか？」「自分の生活はどうなるのか？」  
「来年の今頃は何かしてるのだろうか？」等々、  
先行きが見えないと不安になるものです。



先が見えない時には、足元を見つめ、  
今できることをするしかありません。  
地道な積み重ねが形になってくると、未来が少しずつ見えてくるものです。

宇宙飛行士の若田光一さんが、「今、できることを着実に、辛いなと思いつつも工夫しながら前に進もうと努力しているときに、一番成長しているときだということを忘れないで」とテレビのニュースで言っているのを見ました。

ひたすら家の中の掃除をして生活環境を整えることによってリセットできたとか、仕事が減って時間が出来たら新たな学びに挑戦したという方もいることでしょう。  
そのような積み重ねが未来へと一歩なのだと思います。

新型コロナウイルス感染で社会は大きく変わります。  
新しい技術・制度・ルールが広まり、形骸した仕組みや行事は消えていくことでしょう。

社会の変化の中で、自分の仕事は必要ないのではないかと、収入が減って生活できなくなってしまうと、疎外感や不安を抱いている方もいらっしゃると思います。

世の中の仕組みが変わっても、人と人とのつながりで世の中が動いていることに変わりはありません。しかし、「新しい日常」は人と人の距離を遠ざける傾向になりがちです。

そのような時こそ、つながりが希薄にならぬよう行事は大切にしなければなりません。  
お盆など、何百年も連綿として続いているお寺の行事は、神仏や先祖とのつながりを意識して、先人の知恵を引き継ぐために必要なものです。  
人とのつながりが、苦しい時代を生き抜くセーフティーネットにもなるはずです。

寺ネット・サンガも新しい日常の中でセーフティーネットでありたいと思います。

令和元年 10 月 17 日（水）



## 法話「空海という人がいた」

真言宗豊山派 密蔵院住職 名取芳彦

### ●空海の生涯

宝亀 5 年(774)讃岐に生まれ、20 歳で出家。『大日経』と出会い、唐に渡り長安で学び、密教、気象、天文、地質に医学などを持ち帰りました。43 歳で高野山を開き、63 歳で入定。没後 86 年して弘法大師という大師号を賜りました。

### ●密教～仏教の教え

病気になるのが、死が迫ろうが心穏やかにいるために空海が示した方法は仏の真似をしてみなさいということ。身口意（体と口と心）で仏さまの真似をしてみなさい、それができた時にあなたは仏です。仏さまの真似を続ければ、仏にはなれなくても仏に近づくようにはなれるということです。

### ●質問コーナー

- ・智山派と豊山派の特徴は？
- ・両界（金剛界・胎蔵界）曼荼羅って？
- ・真言宗では死んだらどこに行くのか？ 等々

令和元年 12 月 11 日（水）



## 法話「道元という人がいた」

曹洞宗 正山寺住職 前田宥全

### ●道元の教え

道元は「修行は完結して終わるのではない」「発心・修行を繰り返す、成仏し続ける」「衆生とともに生きる」という教えを残されました。それは「すべてのものは移りゆく。怠らず努めよ」というお釈迦さまの教えにもつながるものです。

### ●永平寺の修行僧（雲水）の一日

起床は午前 3 時半。桶一杯の水で歯磨き・洗面を済ませ、朝の坐禅・勤行、細かな作法の乗った食事、動く禅とも呼ばれる掃除（作務）、食材や道具を大切に手間と工夫を惜しまない調理（典座）など、夜の 9 時就寝まで一日のすべてが厳しい修行です。

### ●質問コーナー

- ・音を立てずに沢庵を食べる方法を教えてください。
- ・「曹洞宗」という宗派は、道元の生前に開かれたのですか？ 等々、

令和 2 年 2 月 6 日（水）



## 法話「法然という人がいた」

浄土宗 浄信寺住職 吉田健一

### ●法然の生涯

長承 2 年（1133）美作国に生まれ、15 才で比叡山に登り、18 歳で法然房源空と名を受ける。43 才、善導大師の『観経疏』によって「一心に専ら弥陀の名号を念ずる」という専修念仏を説き、65 歳で『選択本願念仏集』を著します。晩年讃岐に流罪となりますが、赦免され 80 歳で往生されました。

### ●『選択本願念仏集』より

裕福な人が仏像を建立することをもって往生の本願とするのではない。法然上人は仏の本願は往生においては一番貧しく弱い人たちをこそ救わなければならない。なぜならば仏がそういう人たちも含めすべての衆生を救いたいと願ったのだからと。往生するのに貴賤、優劣の条件を付けないのです。

### ●質問コーナー

- ・いろいろな浄土の違いって？
- ・念仏はたくさん称えた方がいいのすか？
- ・成仏と往生の違いがわかりません。 等々

# オンライン行事



## 令和2年5月24日（日） オンライン飲み会

会員のみ呼びかけ10名ほどが参加。  
各自パソコンの前で一杯やりながら、近況報告をしました。  
遠方からの参加もあり、画面越しに見る久々の顔に話も弾みました。

## 令和2年6月26日（金） オンライン坊コン

いつもの坊コンの流れを再現しました。

- 1、皆さんからの仏教にまつわる情報交換
- 2、吉田代表による法話 「コロナ禍ならぬ『コロナ鍋』」
- 3、2グループに分かれて懇談
- 4、全員でシェア

久しぶりに「坊コン」の感覚が戻り、あっという間の2時間でした。



# 再放送企画

コロナ禍で活動休止中、ホームページには「初期『仏教ひとまわりツアー』再放送」と称し、10年前のイベントの動画を配信しました。ミニ法話・プチ修行・模擬葬儀など、寺めぐりと終活の先駆けとなる企画でした。あの頃のエネルギーを忘れずに、今後も楽しい出会いと学びの場を作っていきたいと思います。

## 平成23年1月15日（土）



## 仏教ひとまわりツアー第1回 大田区 日蓮宗永寿院

境内散策；遺跡散歩と永代供養墓を参拝  
住職の法話；「お題目とお墓」  
プチ修行；「唱題行」  
模擬葬儀；「おくられびと」が語る納棺作法

## 平成23年3月5日（土）



## 仏教ひとまわりツアー第2回 港区 曹洞宗正山寺

住職法話；前田宥全師  
プチ修行；「坐禅」  
意見交換；曹洞宗と臨済宗の坐禅の違いなど。  
模擬葬儀；「お坊さん！このお焼香の仕方間違ってますか？」

# ミニツアー

## 令和2年9月12日（土）



都内の感染者数も減少傾向となり、イベント人数規制なども緩和されつつあったため、実験的にミニツアーを吉田代表の自坊・池上永寿院にて開催。日蓮聖人の龍口法難の話や、考古学者の松原先生の解説で永寿院の周辺から発掘された遺物を拝見しました。休憩の後、コロナ禍で様変わりをしている葬儀事情について意見交換をしました。  
やっぱりオンラインよりリアルの集まりの方が楽しく、イキイキと語り合ったひと時でした。

# コロナ禍の僧侶たち



## 浄土真宗延立寺 松本智量 延立寺縁側（通称・アミダステーション）

アミダステーションは、気づきと出会いの場です。

広い意味での仏教的世界観とは、この世界を「縁起的」に捉えるものであり、「自他ともに心豊かになる社会」を目指すものです。

具体的には、「平和」「人権」「環境」「国際協力」をテーマとする活動をその内容と考えます。また、葬式や法事や通過儀礼などの宗教行事も含まれます。

上記の活動へ、積極的に場を提供します。



## 臨済宗独園寺 藤尾総允 サタデーナイト Zoom 坐禅&動禅

（マインドフルネス・イン・モーション）

Zazen and Mindfulness in Motion on Saturday night via Zoom.

楊名時太極拳を応用した動禅で体を温め免疫力を高めて、坐禅で姿勢と呼吸とところを調えます。

動と静の融合で心身のシンクロナイズを世界中の方々へと体感してください。



## 日蓮宗永寿院 吉田尚英 静かなお会式法要

万灯練り行列が中止となり、お会式の夜には大勢の参拝者でにぎわう池上の町も閑散としていました。永寿院では10月12日の夕刻、境内に灯ろうと「光るお会式桜」を飾り、18時から住職一人でお勤めをしました。おつとめの後は、灯ろうの準備をお手伝いいただいた数人の檀信徒さんと、しばらく灯ろうのゆらめきを眺めながら、静かなお会式に浸っていました。

# 今後の予定



## もっといい法話の辻

名取芳彦さんの密蔵院のイベントに参加します。

みなさんと法話の辻ではちあわせ、名取さんの法話を聞いたのち、お寺で一杯。

日時；11月29日（日）午後4時～6時

費用：1,000円

場所：もっとい不動 密蔵院 〒133-0073 東京都江戸川区鹿骨 4-2-3

## 訃報

寺ネット・サンガ事務局員の田村周作さんが、昨年11月25日に逝去されました。

本年2月1日、事務局員をはじめ田村さんと親しかった15名ほどで偲ぶ会を催しました。

永寿院にて超宗派僧侶4名によるおつとめと法話の後、古民家カフェにて会食。

寺ネット・サンガらしいお別れの会でした。

